

科目区分	基礎科目	科目名	現代社会と女性		科目コード	19Y010	担当者	玉島 健二			
対象学生	幼児教育学科 全学		学期区分	通年	単位数	2	担当形態	単独			
科目			施行規則に定める科目区分又は事項等			卒業要件	必修				
						免許・資格要件					
科目の主題						学修成果との関連（大◎、中○、小△）					
2年間で15回の授業です。この科目は、卒業後に社会人となる皆さんに、社会人として必要な基本的素養及び学生生活を送る上で必要な基礎を学んでもらうために開設しています。学生の皆さんには多元的で、柔軟なものの方、考え方、行動力などを身に付けてほしいと願っています。						1. 「尽心」 誠実な人柄と 人間力		2. 「創造」 高度な知性と 創造力		3. 「実践」 明確な意思と 実践力	
科目の到達目標						① 誠 実 性 ・ 真 摯 性	② 多 様 性 ・ 協 働 性	③ 知 識 ・ 技 能	④ 表 現 考 ・ 創 判 造 断 力	⑤ 実 主 行 力 性 ・ 自 立 性	⑥ 就 業 力 ・ 貢 献 力
1.	現代に生きる女性に必要な素養、考え方、生き方等を身に付ける					◎	◎	△	◎	◎	○
2.	命と人権を考え、お互いを大切にすることと行動力を身に付ける										
3.	仕事や職業について理解し、人としての生きる力を身に付ける										
4.											
5.						成績評価の方法と割合					
授業方法						提出物（60%） 受講態度（40%）					
2年間で15回の授業で、第3回目～第5回目は「初年次教育」として本学で学ぶ意義や授業の受け方、レポートの書き方等、本学学生として必要なスキルを身に付ける授業を行います。それ以降は、多彩な講師（一部は外部講師）による授業です。授業終了後には、毎回レポートまたは成果物（提出物）を提出してもらいます。											
課題等への対応						授業外学修時間					
提出されたレポート（提出物）は、その都度評価します。						各授業後には30分～60分の時間をかけてレポートを作成する。					
回数	授業計画					学習課題（予習・復習）					
第1回	大学を知る・自分を知る（建学の精神、本学の歴史を学ぶ等）					学園の建学の精神や本学の歴史についてレポートにまとめる					
第2回	自分を知る					自己紹介シートを作成し、提出する					
第3回	一般教養を学ぶ①					授業後に指示された課題を解く					
第4回	一般教養を学ぶ②					授業後に指示された課題を解く					
第5回	一般教養を学ぶ③					授業後に指示された課題を解く					
第6回	新聞及び新聞記者から学ぶ（外部講師）					受講後、自らの生き方についてレポートにまとめる					
第7回	新聞制作・新聞スクラップ（外部講師）					受講後、興味を持った新聞記事の感想をレポートにまとめる					
第8回	キャリアについて考える①					自己分析シートを作成し、提出する					
第9回	人権について考える					受講後、人権について自らの考えをレポートにまとめる					
第10回	キャリアについて考える②（職業情報フォーラム）					受講後、自らの将来像についてレポートにまとめる					
第11回	キャリアについて考える③					受講後、感想をレポートにまとめる					
第12回	キャリアについて考える④（就職活動を始めるに当たって）					受講後、感想をレポートにまとめる					
第13回	「コミュニケーション力」を高める（外部講師）					受講後、感想をレポートにまとめる					
第14回	18歳選挙権・成人年齢引き下げについて考える（外部講師）					受講後、選挙や政治への参加、18歳成人についてレポートにまとめる					
第15回	まとめ（自己の学びを振り返り、成果や課題について考える）					15回の授業受講を振り返り、レポートにまとめる					
試験	定期試験を実施しない										
教科書	授業中に必要に応じて適宜配布します。				受講生への メッセージ	1回目から15回目まで、それぞれ狙いをもって授業を行います。学生の皆さんは、それぞれの講師の願いや思いををしっかり受け止め、人間力を高めてください。					
参考書 等	参考書はありませんが、日ごろから新聞を読んだり、時事問題などに関心を持ってください。										